

ダンボールを使って～それぞれの表現を協力する～ R5.8.31

お楽しみ会でのダンボール遊びから連日楽しんでいる子どもたち。始めは何を作ろうか悩んでいた子もお友だちの案やひらめきに乗って楽しんでいます。廃品製作との違いに戸惑っていた子どもたちですが“大きなトンネル”や“線路”や“お家”など案が出てくると「いいね」「一緒に作ろう」と興味と意欲に駆り立てられていました。小さな集団での遊びから少しずつ大きくなり製作物も広がっていきます。時には意見のぶつかり合いや思い通りにいかないこともあります子どもたちで考え、協力している姿が見られていました。



もっとおおきく
しよう!

これつかえるかな～

うまくたたない…



どうしようかな…



ちゃんととおれる?

ぶつからないように
きをつけて



ここどうする?



どうつなげようかな～

たおれないように
しっかりつけて

ながくなった～!



おおきいな～

実は取り組む前に話した時には“迷路を作ろう”と話していました。実際に大きな空間でたくさんのダンボールを見ると意欲が出てそれぞれが想像しているものを表現したり作りながら形を変えて製作を楽しんでいました。“大きなものを作りたい”“細かなところまでこだわりたい”とそれぞれの個性を出しながら数日に渡って楽しんでいる経験は今後の遊びや活動にも繋がり、集団の楽しみを感じられたのではないかと思います。そこにあるもので自由に表現するを思う存分できるようにこれからも環境を整え楽しめるようにしていきたいと思っています。